

平成 29 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ザンベジ州カティマ・ムリロ市メインストリーム協会障害児・孤児センター衛生改善計画」引き渡し式



我が方支援の台所棟の前でプロジェクトの成功を祝して握手する坂本大使とポハンバ前大統領夫人。



日本国政府及び日本国民の支援に謝辞を述べるチドゥンカ・メインストリーム協会理事長



坂本大使挨拶



ポハンバ前大統領夫人挨拶



ザンベジ州出身のサンクワサ公共事業・運輸省副大臣も式典に出席



マノンベ＝クーベ副大統領府障害者担当副大臣挨拶
ナミビア政府が目標とする包括的な成長に向けて、障害者への支援は重要であることを強調。

平成 29 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ザンベジ州カティマ・ムリロ市メインストリーム協会障害児・孤児センター衛生改善計画」引き渡し式



同施設児童、児童保護者による踊りと歌の披露。サンクワサ公共事業・運輸省副大臣他の飛び入り参加により、会場はおおいに盛り上がった。



サンクワサ副大臣から日本の支援に対する感謝状が贈られた。



来賓席の様子。



我が方支援により建設された台所・ダイニングルーム（左）、トイレ（右）。日本側支援が呼び水となり、他3団体から、収入創出活動のためのマシン機材や職員施設などが追加で供与された。

平成 29 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ザンベジ州カティマ・ムリロ市メインストリーム協会障害児・孤児センター衛生改善計画」引き渡し式



プロジェクトの成功を祝してケーキが用意され、参加者に振る舞われた。



坂本大使、ポハンバ前大統領夫人による序幕式



施設周辺のコミュニティの風景。
貧困度の高さがうかがえる。障害者への偏見も根強く残っている。

(7)